

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	技術者リテラシーⅡ	
科目基礎情報							
科目番号	0012			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	経営情報学科			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	1		
教科書/教材							
担当教員	久保田 良輔						
到達目標							
1. 技術者として自分の将来像を明確化できる。 2. 技術者として必要な技術者倫理が理解できる。 3. 政治・経済・文化・宗教の観点から他国・他地域の特徴を理解できる。 4. 各学科の専門教育の重要性が理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	技術者として自分の将来像を明確化でき、将来のあり方について考察し、本校の学習内容が企業等でどのように活用・応用されるかを説明できる。		技術者として自分の将来像を明確化でき、将来のあり方について考察することができる。		技術者として自分の将来像を明確化できる。		技術者として自分の将来像を明確化できない。
評価項目2	技術者として必要な技術者倫理を理解し、技術者としてすべきことを考えるとともに知的財産の必要性を説明できる。		技術者として必要な技術者倫理を理解し、技術者としてすべきことを考えることができる。		技術者として必要な技術者倫理が理解できる。		技術者として必要な技術者倫理が理解できない
評価項目3	政治・経済・文化・宗教の観点から他国・他地域の特徴を理解し、自らの文化と関連付けることができる。		政治・経済・文化・宗教の観点から他国・他地域の特徴を理解し、自らの文化との違いを説明できる。		政治・経済・文化・宗教の観点から他国・他地域の特徴を理解できる。		政治・経済・文化・宗教の観点から他国・他地域の特徴を理解できない。
評価項目4	各学科の専門教育の重要性が理解でき、学習内容を本校の講義内容と関連付けることができる。		各学科の専門教育の重要性が理解でき、学習内容を授業と関連性を模索することができる。		各学科の専門教育の重要性が理解できる。		各学科の専門教育の重要性を理解できない。
学科の到達目標項目との関係							
教育目標 (F)							
教育方法等							
概要	技術者リテラシーⅡは、技術者リテラシーⅠと同じく現代の技術者が有すべき知識・素養の修得を目指す科目である。これらの内容は今後の実験・実習、卒業研究また、就職、進学後でも重要な知識であるため十分に理解してほしい。						
授業の進め方・方法	技術者リテラシーⅠと同様に複数人の講師による講義を行う。本講義では技術者として身につけるべき技術者倫理を学び、その社会的背景や重要性を理解し、社会における技術者の役割を理解する必要がある。また、グローバルな人材が社会から求められており、技術者として広い視野を持った人材となるため、様々な文化や宗教等を理解し、その知識を身につける必要がある。さらに、本校で行っている専門教育の重要性を理解し、積極的に身に着けグローバル社会に適応できる人材になることを望む。						
注意点	技術者リテラシーⅠにおいて学んだ内容に加え、技術者として必要な専門知識の基礎を学んで行きます。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		技術者リテラシーⅡについて、評価方法や授業内容等の説明を行う		
		2週	学科ごとの就職先		各学科の就職先、その業種や傾向について理解できる。		
		3週	履歴書を書く		履歴書の基本的な書き方について理解できる。		
		4週	労働法制		労働法について重要性と概要を説明できる。		
		5週	インターンシップに向けて		インターンシップに向けての説明を受け、将来ありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考え、実行することができる。		
		6週	企業人の講話		インターンシップに向けての説明を受け、将来ありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考え、実行することができる。		
		7週	企業人の講話		インターンシップに向けての説明を受け、将来ありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考え、実行することができる。		
		8週	技術者倫理の基本と実践		技術者を目指すものとして社会的背景や重要性を理解し、社会における役割と責任を説明できる。		
	2ndQ	9週	情報倫理		情報技術が社会に及ぼす影響について理解し、技術者として取るべき行動が理解できる。		
		10週	情報倫理		情報技術が個人情報や著作権などの法律との関連について理解し、技術者として取るべき行動が理解できる。		
		11週	知財教育		知的財産とは何かが説明できる。		
		12週	知財教育		知的財産の社会的意義や重要性などの知的財産の基礎について説明できる。		
		13週	異文化多文化理解		様々な国の文化や歴史に興味を持ち、その違いを理解し、説明できる。		

後期		14週	異文化多文化理解	様々な国の文化等を自分たちの文化と関連付け、その違いを受け入れ価値観を共有できる。
		15週	グローバリゼーション	様々な国や地域の特色を理解し、説明できる。
		16週		
	3rdQ	1週	グローバリゼーション	様々な国や地域の特色を理解し、持続的発展に技術者として果たすべき役割とそれに伴う責任と鼓動について説明できる。
		2週	各学科受持 研究室配属等 後期2回～1 4 回は各学科で授業を行う	各学科でそれぞれの学科の学生に対して研究室体験等を行い、専門科目の重要性が理解できる。
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週	まとめ	1年間で学んだ知識を整理するとともに、技術者として技術倫理、専門知識の必要性が理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
知識の基本的な理解	0	0	0	0	0	70	70
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0	0	30	30
汎用的技能	0	0	0	0	0	0	0
態度・志向性（人間力）	0	0	0	0	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	0	0	0